

市長「おしゃべり」 しませんか

1月24日、中央区の旧曙小学校で開催された「市長とおしゃべりしませんか」。地域住民や利用者とともに、昭和26年に建設された歴史ある校舎を見学した後、校舎の暫定利用について、幅広い意見交換を行いました。



●あけぼの美術企画
むらまし ひろあき
村岸 宏昭さん

美術関係の活動をしています。この校舎にはインスピレーション、ひらめきを引き出す力があるように思います。札幌はアトリエに適した場所が少なく、芸術活動を志す人たちが道外に流出してしまうのが悩み。その点、ここは優れた活動場所になり得るので、この校舎の運営が少しでも長く続いてほしいと思います。

昨年の11月から旧校舎を暫定利用していますが、できる限り経費を掛けない運営を目指して、暖房のボイラーも1時間おきに入れています。「お金がなければ知恵を出す」という発想で、地域の方の活動や出会いを応援していきたいと思っています。



●あけぼの開明舎相談役
みながわ とおる
皆川 徹さん

市長から

この建物は、本当に味わい深いですね。天井も高く、木の床も黒光りするほどに磨かれていて、創造力がわくというのもわかります。ただ、文化活動も、主役はあくまでも「人」。確かに、この場所は貴重ですが、使用できる期間は最大限に活用して、地域に人をはぐくみ、知恵とエネルギーを蓄えていってほしいですね。

以前から、時計台が街中にあることを疑問に感じていました。ここの跡地に移設して、中島公園のキタラや豊平館など、周辺の文化施設と一体化すれば、札幌の歴史ゾーンとして新たなまちづくりができるのではないのでしょうか。



●鍵盤ハーモニカサークル
みやけ えいはちろう
三宅 英八郎さん

市長から

時計台を持ってくるというのは、ちょっと難しいですね……。点と点をつなぎ合わせて、地域にストーリーをつくるという発想は素晴らしいと思います。そうした地域の個性が、住民の愛着を深めていくのですから。

子供のサッカーチームを指導しています。都心の統合された学校の子供たちが気軽に遊んだり、サッカーの練習をしたりするために、地域の学校も使えるようにしていただきたいと思っています。



●NPO法人 サッポロボーイズ山鼻
きむら よしみつ
監督 木村 好光さん

市長から

学校の利用に当たっては、防犯対策などもしっかりと考えなければなりません。また、旧豊水小学校など比較的築年数の浅い学校は、今後、積極的に活用していく方針です。



<ひとロメロ>

都心部の創成・大通・豊水・曙の4小学校を統合し、平成16年4月、資生館小学校が開校。
旧曙小学校は、同年11月から平成18年3月まで、「あけぼの開明舎」として暫定利用されています。

